

函館山の麓、西部地区からまちづくりと一緒に!

はこまち通信 クーポラ

2022
移住
増刊号

#hakodate

#地方移住

#移住で見つける
理想の暮らし

#Uターン

#海が見える暮らし

#函館帰りたい

一冊まるごと
#はこだて暮らし



発行/函館市地域交流まちづくりセンター
<https://hakomachi.com/>

移住サポートセンター
<https://hakomachi.com/iju-support/>





今こそ函館 今なら函館 今だから函館

ご相談方法は4つ!



ご来館



お電話



メール



オンライン
(Zoom)
移住相談

事前
予約制

函館市への移住相談窓口「**移住サポートセンター**」

〒040-0053 函館市末広町4-19 (函館市地域交流まちづくりセンター内)
※函館市電「十字街」電停より徒歩1分

電話.0138-22-9700 info@hakomachi.net
<https://hakomachi.com/iju-support/>



移住サポートセンターとは？

移住サポートセンターは、函館市への移住相談窓口として、函館市への移住を検討している方、二拠点生活(行ったり来たり)を検討している方、函館に移り住んだ方(定住)、二拠点生活をはじめられた方へのご相談に応じるほか、はこだて暮らしに役立つ情報を発信しています。

函館に移り住んだあとも、みなさんが新生活をスムーズに迎えられるようにサポートしております。はこだて暮らしコンシェルジュ谷口が、みなさんのお越しをお待ちしております。

!/? こんなとき、移住サポートセンターにご相談ください!

- * 函館ってどんなまち？ * 函館市の移住支援事情
- * 移住者はどのエリアで暮らすのがおすすめ？
- * 車を持たない暮らしを希望している
- * 函館の春夏秋冬…特に冬の過ごし方が知りたい!
- * 医療・子育て・買い物・レジャー等 etc...

函館に
移り住んだあとも
相談できます

情報収集は6つ!



Webサイト



メール
マガジン



Instagram
@はこだて暮らし



ブログ
<https://hakomachi.com>



Twitter
@machicen



Facebook
machicen



函館移住 ストーリー

西川さんの場合

心が落ち着くまち 函館での暮らし

家族とともに
函館へ移住(Uターン)した
西川さんからのメッセージです。
【函館→東京→函館(2015年春～)】

函館市役所勤務 西川 裕志さん

「東京暮らしを続けながら、心のどこかで『函館に戻ってくるよ』と 親に報告したかったのかも知れません」

/// 函館にUターンしたきっかけは？



北海道の某町役場の「民間企業経験者採用枠」をたまたま目にして、「もしかしたら函館でもあるかも…」と調べたら募集が出ていたのです。それまでの人生で「公務員」という選択肢は全くなかったのに、このときはなぜか「受けてみよう」という気になりました。

当時の私は、東京での仕事にストレスを抱え、疲れ切っていました。ちょうど親の体調が芳しくなかったことも、函館で暮らすことを考えたきっかけのひとつです。



家族で函館公園へ

/// ご家族の反応は？

妻は「受かってから考えれば？」「受かるんなら行っちゃってもいいんじゃない？」という感じで、私の背中を押してくれました。妻は横浜生まれ横浜育ち。中学生の頃に函館を訪れたことがあるなど、人生で函館との小さな縁の積み重ねが多々あったそうです。

住まいの決め手は？

1月下旬に正式な内定をいただいて、3月末までに引っ越さなければならず、住まいをじっくり検討するような時間の余裕がありませんでした。ネットで賃貸物件を検索して、通勤しやすいエリアに候補をしぼり、私ひとりで内覧して契約しました。妻は転居当日に初めて部屋を見ましたが、気に入ってくれてホッとしました。買い物や病院など、地域のエリア情報を少しでも知りたかったので、ストリートビューが大活躍でした(笑)。



函館公園内の動物施設を見学
2021年7月18日撮影
この日の函館の最高気温は31℃

函館に住みはじめて感じたことは？

海があり山があり自然が豊かで、食べ物がおいしい。私たち夫婦から見ればとても素晴らしい環境だと思うのですが、ずっと函館で暮らしている人は当たり前だと思っているようで、なんだかもったいないなと感じています。



函館の短い夏を満喫

移住を検討中のみなさんへ



函館は、空気が合っている、というか…何となく心が落ち着く気がしています。妻も「空気がおいしい」「野菜がおいしい」「子育てしやすい」「人が少ないのがいい」などなど、いいところをたくさん見つけています。地域の方もとても親切で、分からないことや困ったことがあれば、色々と教えてくれます。

函館への移住・Uターンを検討中のみなさんも、分からないことがあれば積極的に地域の方に聞いてみましょう。やりたいことがあれば、ぜひ行動を起こしてみてください。函館は、自分から動くと、どんどん住み心地がよくなるまちです。私も「市民創作函館野外劇」のお手伝いをしたり、家族で函館口ケの映画にエキストラ出演したり、と、函館ならではの暮らしを満喫しています。

私が今こうして“はこだて暮らし”を楽しんでいるのは、やはり一度函館を離れたからだと思います。ずっと函館で暮らしていたら、郷土愛もこれほど強くはなかったかも知れませんね。



Instagram

@hakodatekurashi



移住サポートセンターのInstagramをフォローしませんか？
函館の飾らない日常風景を発信中！#はこだて暮らし で検索！

Instagram

はこだて暮らし

 メールマガジンで“はこだて暮らし”の情報を
ゲットしませんか？ご登録はこちらから▶



Hakodate 2022 extra number

月2回メールマガジンで函館の情報をお送りしています

移住サポートセンターとの連携もバッチリ!



函館移住の強い味方をご紹介します! あなたのこまりごとを支えます

「住まい探し」「仕事探し」「子育て環境」
函館・移住相談で問合せが多い3つの「こまりごと」をサポート!

住 すまい



出身は徳島県です
西部地区の街並が大好き!
蒲生商事にお問い合わせを!

株式会社蒲生商事
営業部長 谷口さん

函館市元町31-23
☎0138-83-6691(平日9:30~17:00)



移住希望者に人気の函館山麓エリア(通称西部地区)を中心に活動を行っている不動産会社。移住、二拠点、テナント、古民家、またそれに付随するリノベーション提案を得意とする。事前予約でリモート案内も対応。移住サポートセンター(まちづくりセンター)より徒歩3分。

◀蒲生商事 hakodategamo.jp

仕 しょと



函館の求人情報が充実!
「函館しごとネット」で
検索・活用を!

函館しごとネット 函館市経済部
雇用労政課 前田さん

函館市東雲町4-13
☎0138-21-3309(平日8:45~17:30)



東京圏から函館に移住された方へ支給される『移住支援金』の窓口。UIターン、函館移住希望者からの「仕事」に関する問い合わせに因應するため、ポータルサイト「函館しごとネット」を2021年秋にリニューアル。掲載の求人数は180企業を突破。JR函館駅から徒歩10分、函館市役所3階。

◀函館しごとネット hakodate-job.net

子 こそだて



スタッフは子育て真っ最中!
函館・近郊の子育て情報を
ひとつにまとめました!

ままっち!編集部
谷間さん

有限会社ビイエフネット 函館市本通2丁目2-15
☎0138-86-5760(平日9:00~17:00)



函館・近郊の子育て最新情報を集約したウェブサイト『ままっち!』が2019年大幅リニューアル。子育て世代が地域の情報を集めることの難しさを痛感するスタッフが企画・運営・更新する。ママ目線で発信する「幼稚園・保育園情報」は、これからママになる方、転勤族の方、函館移住を検討中の方にもおすすめ。

◀ままっち!編集部 mamatch.jp





移住サポートセンター“はこだて暮らしコンシェルジュ” 谷口より

人生をより豊かに…

人生を変える、変えたい～可能性にチャレンジ～

函館で、毎日楽しんで暮らしてみませんか？移住後は仕事や働き方・雪のある生活など、あらゆる環境が変化します。その変化、時間の流れにどのように対応しましょう。

①心をみたく活動

②函館をより好きになる活動

を始めてみてください。具体的には、趣味やスポーツ、サークル、温泉巡り、ドライブなど、今までの経験を活かして、函館スタイルの活動を始める。そうすることで、函館の人とつながり、縁ができてきます。縁を大事にすることでますます縁が広がります。

160年前の箱館開港により、いろんな文化が入ってきました。明治の初めから、函館は移住者に対してウエルカムで、いろんなサポートを惜しみませんでした。今でもその精神、DNAが根付いていますので、移住者が活躍できる土壌や環境があります。

子育て環境に目を向けてみましょう。海があり山があり、季節の移り変わりが感じられる函館は、子どもたちの感性を育みます。保育所等の待機児童はゼロ、地域住民や行政等が力を合わせ、子どもの見守りなどさまざまな取り組みをしています。

何か困ったときは函館の人に話しかけてください。“はこだて暮らし”のヒントが聞けるかも…。今日はどんな1日にしましょう。住む環境が選べるなら、好きな場所＝函館に住んでみて、人生をより豊かにしませんか。

たにぐち まさき

はこだて暮らしコンシェルジュ 谷口 真貴

移住サポートセンター10年目のスタッフ
北海道移住のきっかけは地域おこし協力隊
(道南・厚沢部町で3年間)
兵庫県神戸市出身。趣味は草野球

移住サポートセンターはみなさんが函館の人と知り合う、つながる場です。



函館移住に必要な情報をWebで発信！

函館市への移住相談窓口
移住サポートセンター



<https://hakomachi.com/iju-support/>

